

長期ビジョン  
「市民提案発表会」



# アガリCITY・工濱



# 概要

## ◆環境教育

- 学校教育
- 地域教育

## ◆環境行動

- 大学における環境行動
- 地域全体で考える環境行動

## ◆民・産・学・行政の連携

# 環境教育の意義と役割

## 「小学生は環境問題のエース！」

- 環境「行動」を起こすには…
  - 身近な自然を感じ、その変化に気づく感性
  - 環境に対する疑問・興味を行動に結びつける実行力
- 学校における環境教育の役割
  - 身近な自然に対する子どもの豊かな感性を育てる。
  - 気付き→行動→ふりかえりの環境行動プロセスを確立する。



→環境改善意識の向上、環境「行動」の促進



## 小学校における環境教育の課題

- 総合的学習の時間における指導者の負担大
- 指導者の転任、学校責任者の意向の変化
  - 環境教育の実践を継続し、発展させることが難しい。
  - 内容についてアドバイスをする専門家や、取り組みを支援するサポーターが身近に必要。

「環境問題のエース」を育てるには・・・

環境教育の取り組みを地域で共有し、  
その基盤を築く

## ～活動事例～

# 「森と川と海をつなぐ環境学習会」

### ■ 概要

- 大学近隣の小学校と協力して開催し、学校での環境学習の成果を発表しあう。

### ■ 目的

- 他校の発表を聞いたり意見交換をすることで、自分たちの学習分野とのつながりを意識する。
- 学習の成果を他地域の学校、大学生、専門家等と共有し、発展への基盤をつくる。



→大学が地域に対して環境教育の成果を情報発信し、  
環境行動の意識を高める。



# 地域とともに考える環境教育

## ～活動事例～野島自然観察探見隊の特徴

- ◆ 身近な自然を探見！がテーマ
  - ◆ 幅広い異年齢集団
  - ◆ サポート側も子どもと楽しい時間を共有
  - ◆ 色々な方々との出逢い、ネットワークを大切にしている
- 
- ◆ →こうして毎月の活動が子ども達に喜ばれ、充実している

# 野島自然観察探見隊の一年

## 前期の活動

- 4月 認定式・新規説明会
- 5月 オールクリーン野島ビーチ
- 6月 探見!モンキーアイランド  
ホタル観察会
- 7月 わくわくチャレンジ キャンプ 事前研修
- 8月 わくわくチャレンジ キャンプ 2005 in Nagano
- 9月 第12回 金沢水の日

## 後期の活動

- 10月 おーばーナイトハイク
- 11月 探見!秋の森
- 12月 探見隊!冬の陣
- 1月 (未定)
- 2月 バードウォッチング2005
- 3月 どきどきスキーキャンプ



横浜の海岸線134キロのうち唯一残された自然の砂浜

オールクリーン野島ビーチ  
金澤十チュラルアドベンチャー

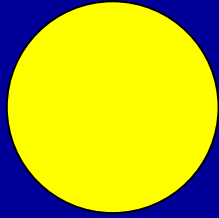


たくさんの  
ゴミを回収!



# ほたる観察会





# 探見!秋の森





## みんな一緒に環境行動





## ～環境教育の目的～

# 自然環境を共に考える人材育成

### ☆ 身近な自然を知る

→自然環境への興味・関心がアップ

→市民同士の情報交換や、ネットワークの広がり(子どもを中心とした活動など)

→市民が自主的に環境行動に取り組む

環境をキーポイントに広がるネットワークが、  
環境に対する市民の思いを育む



# 環境行動

---

## 環境行動とは

- 1) 森・川・海の身近な自然環境を保全・継承する。
- 2) 日常生活のあらゆる局面で省資源・省エネルギーを心がける。

## 環境行動の主体

市民・NPO・企業・大学・行政

## 環境行動のあり方

多様な主体が協働して行う。



# 武蔵工業大学での環境行動

## 1) 身近な自然環境を保全・継承する。

### ・環境についての教育

環境情報フィールド演習

環境教育英語教材開発(カトマンズ大学協同)

LCAテキスト開発

遠隔環境教育システムの開発

### ・環境のための実践的教育

オーストラリア熱帯雨林プログラム

ISO14001認証キャンパスでの教育

中国砂漠化プログラム

循環型社会プログラム(カナダ)

### ・環境の中での地域密着型教育

国内外の地域の水辺環境の改善

キャンパス保存林

エコロジーキャンパス

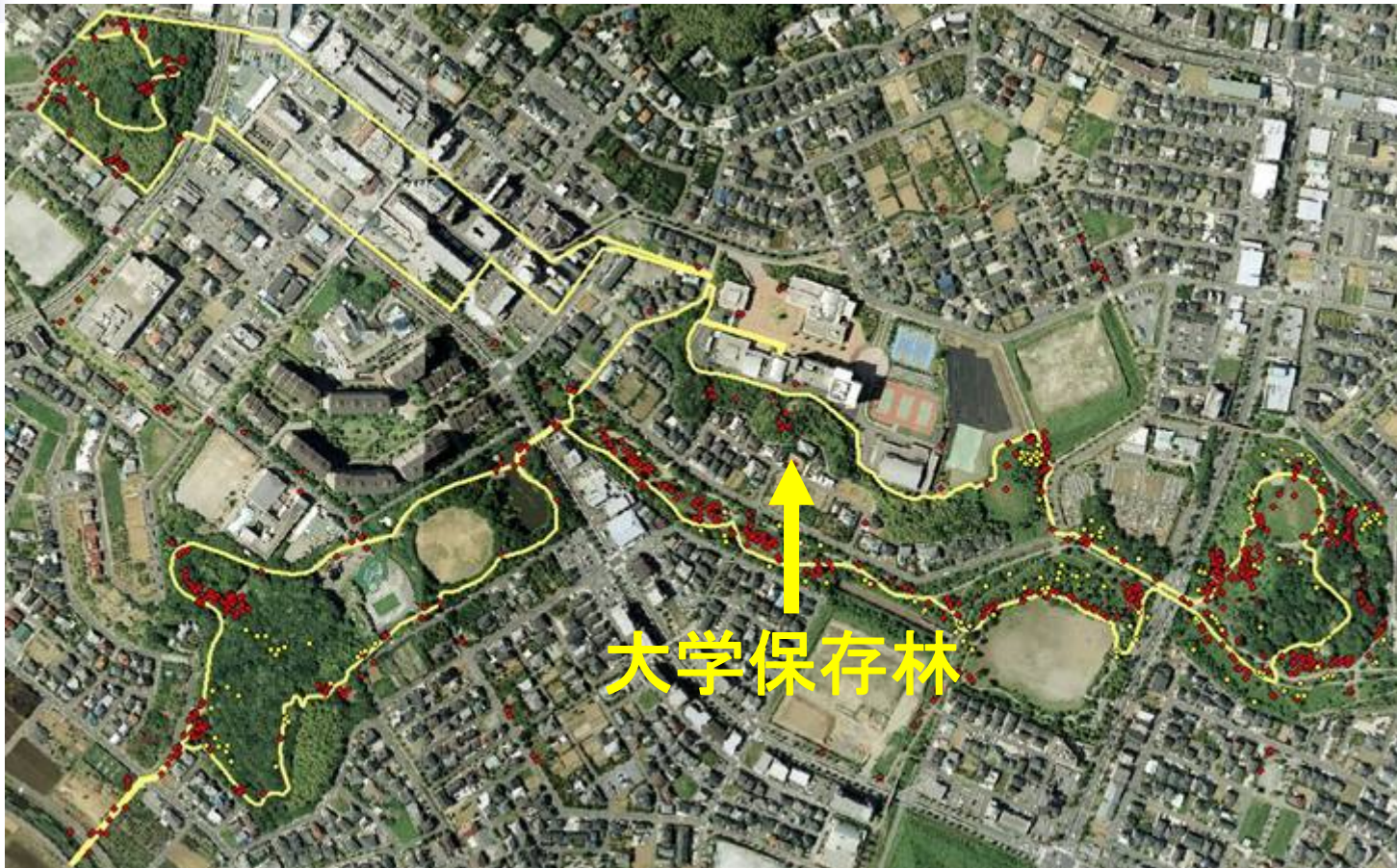
大気シミュレーション

## 2) 日常生活のあらゆる局面で省資源・省エネルギーを心がける。

①ISO14001(環境マネジメントシステム)を活用したキャンパス内での  
省資源・省エネルギー活動

②市内の小・中・高等学校及び大学でのISO14001取得のための出前授業や  
シンポジウムの開催

# 大学の保存林と周辺緑地のチョウ類を指標とした生態系評価とエコアップ手法の開発



株式会社パスコ提供

大学保存林と周辺緑地



# 生物指標としてのチョウ

---

チョウ類は、数十年前から採集記録が数多く残されており、種の生活史(食草など)やその生態がよく判明している。

また、里山環境に適応してきた種が多く、里山の環境の変化の把握やその保全と管理における指標種として適している。

[好ましい指標種としての条件]

- ①種の同定が容易, ②現地での見取り調査が可能,
- ③天候・時刻に影響されにくい,
- ④調査経費が安い, ⑤分布域の広い種,
- ⑥移動性が小さい, ⑦密度が高い,
- ⑧数量化が容易, ⑨狭適応種,
- ⑩誰でもが調査員となれる。



## 研究から環境行動へ

---

産と学による共同研究



民に分かりやすい指標  
チョウ



# 地域住民対象の環境行動

## 『ふれあい祭り』

目的：学生と地域住民との交流を深めると  
同時に大学への理解も深めてもらう



ただ地域住民との親睦を深めるのではなく、  
環境にも興味を持ってもらう

ゴミ拾いによるボランティアをして頂いた  
代償として、『エコマネー』を配布



# 地域全体で考える環境行動

## 『金沢 水の日』

目的：海浜清掃を通して野島の『水環境』を守る

再び『エコマネー』で参加



海浜清掃に参加するか、会場内に落ちていたアルミ缶・ゴミを拾ってきた参加者に配布

このイベントでの問題点とは・・・



# 環境行動における問題点

## 『エコマネー』を使った環境行動 における問題点

- ・広告、宣伝効果の不確実性。
- ・エコマネーのシステムの理解不足。



『エコマネー』を地域住民に  
どう理解してもらうか。

→学生から発信する環境行動

主催：関東学院大学 経済学部 安田セミナー  
会場：関東学院大学 オリーブ広場

**ゴミ検閲隊に入隊してエコマネーで遊ぼう!**

8月22日(日)に開催される「ふれあい祭り」で、関東学院大学 安田セミナーの学生がナビゲーションする校内のゴミ拾いイベントに参加しませんか?ゴミ拾い、ゴミの分別に協力してくれた参加者の方には地域通貨「エコマネー」を補助通貨として差し上げます!エコマネーは、ふれあい祭りの会場内の校商店、及び学生食堂で使用することができます。この機会に学校内にどのようなゴミが落ちていているか、どのような分別をするのかを共に知り、考えてみませんか?

■開催日時：2004年8月22日(日)10:00~16:00  
■集会場所：関東学院大学内 オリーブ広場  
■実施場所：10:30~12:00頃  
■集合時間：10:00

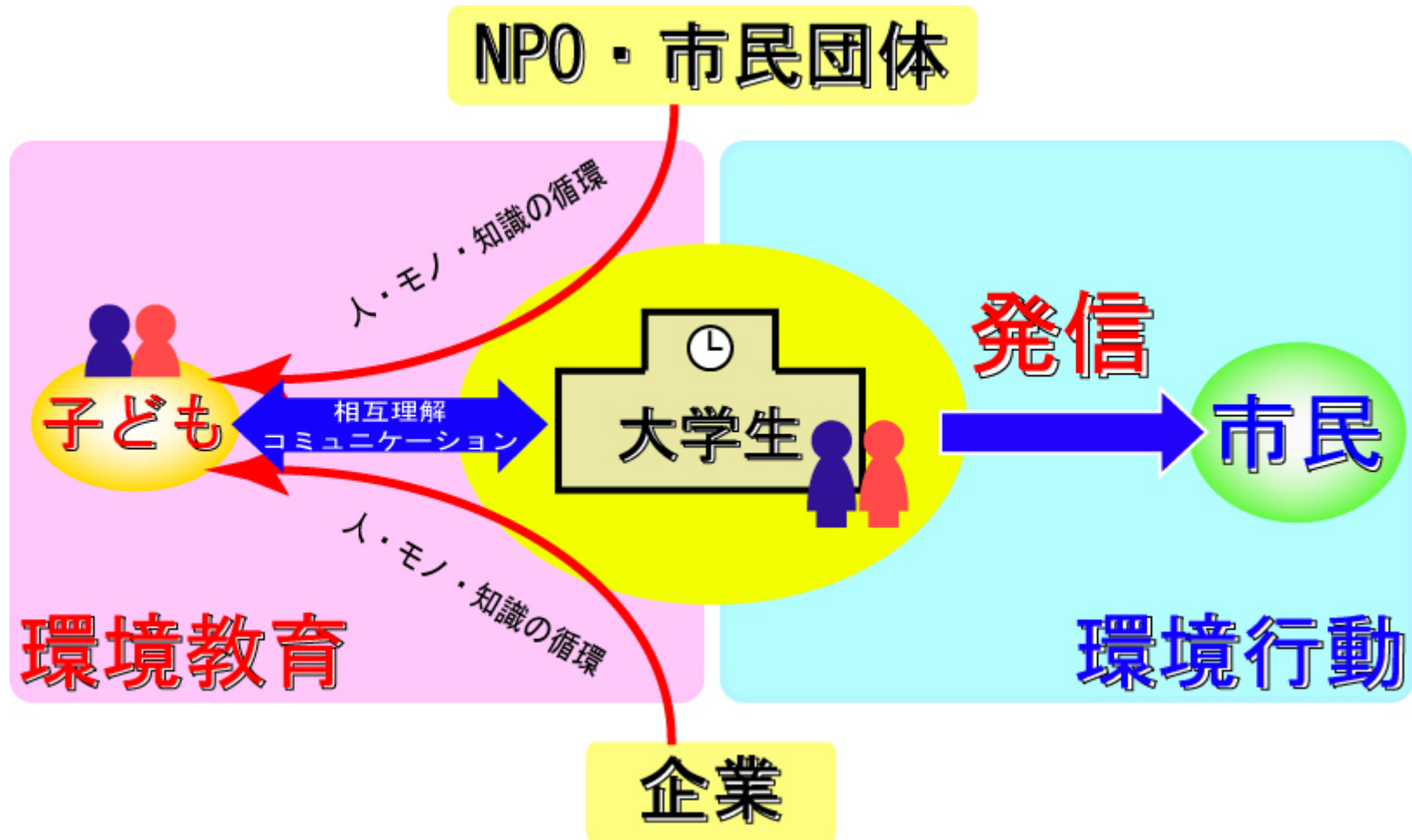
※1.エコマネーは環境特産品を活用した新しいコミュニケーション活動の仕組みのことで、商業が獲得する通貨「円」ではなく、ボランティア活動や環境活動などの社会的な活動を通じて、コミュニティの発展を促進することを目的とした「通貨」を創出するシステムを創出します。目標をもちながら、実践的な財源としてのポイントを受け取ることで、ボランティアが継続しやすくなり、その人の貢献を形にするものです。

申し込み先：関東学院大学 経済学部教授 安田 八十五  
電話番号 FAX TEL: 737-730-2822  
電子メール：yoshida@econ.keio.ac.jp

■申込書欄

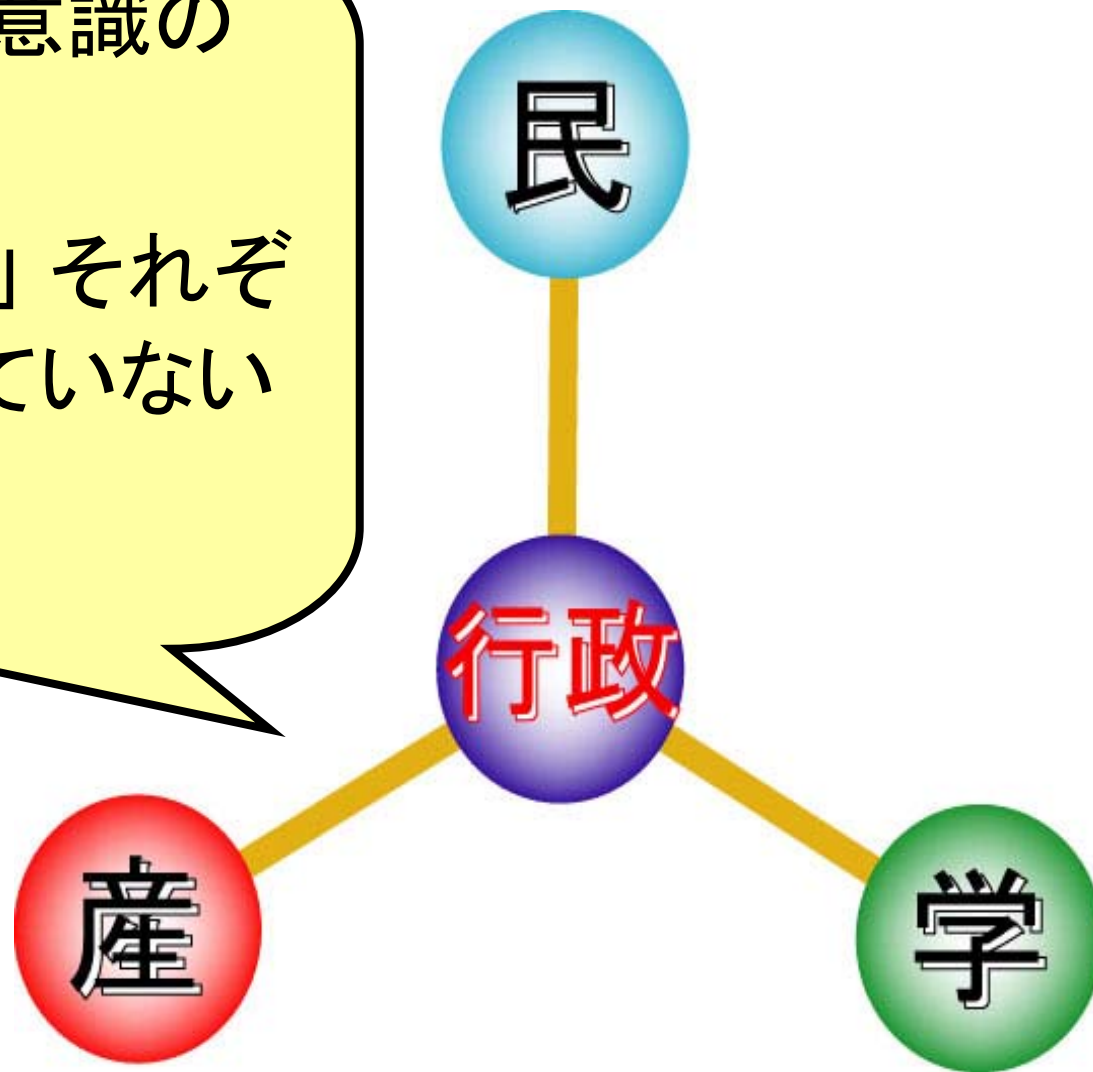
氏名： \_\_\_\_\_ 所属： \_\_\_\_\_  
住所： \_\_\_\_\_  
電話番号： \_\_\_\_\_  
電子メール： \_\_\_\_\_

# 私たちの活動のまとめ



# 環境教育・行動の問題点

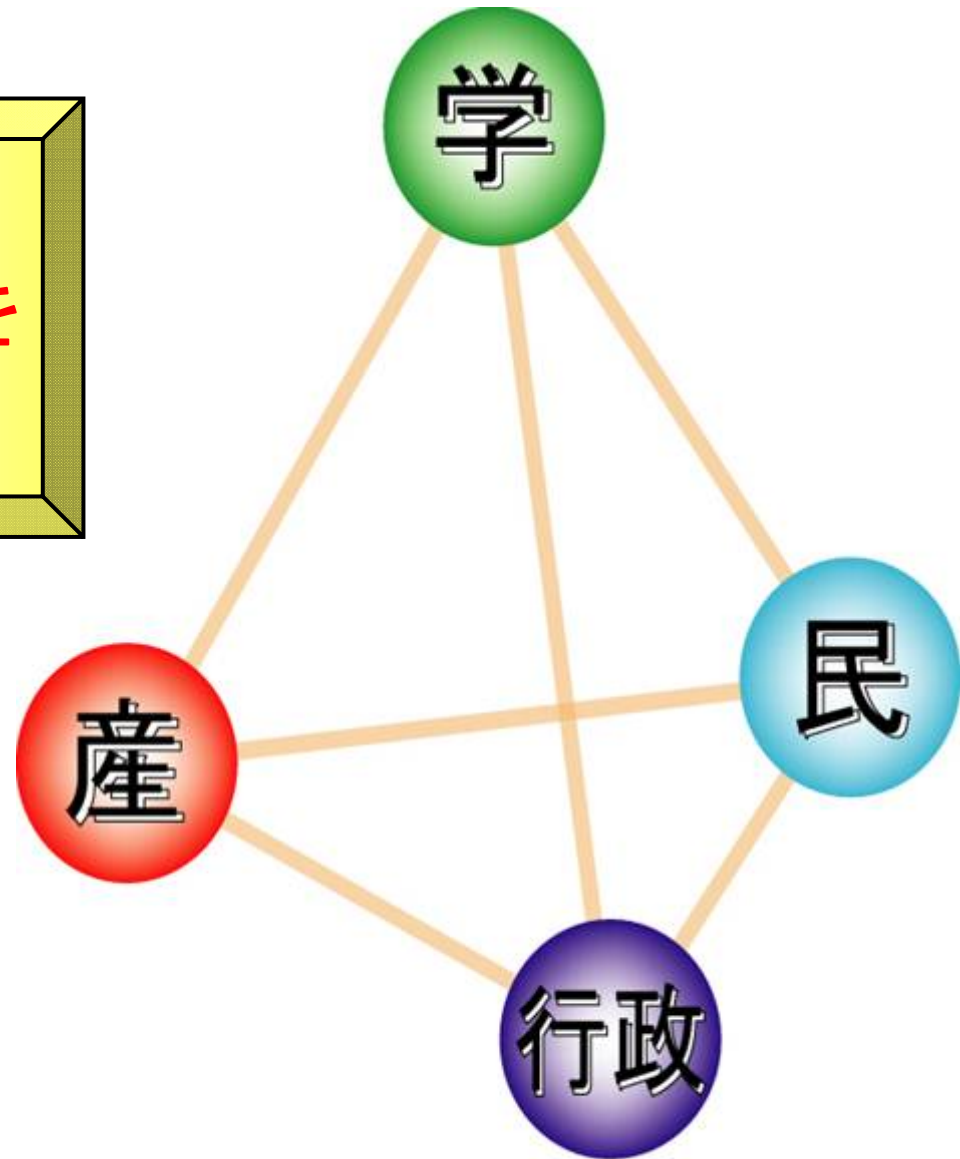
- ◆ 個人の環境への意識の低さ
- ◆ 「民・産・学・行政」それぞれの連携がとれていない
- ◆ 行政主導



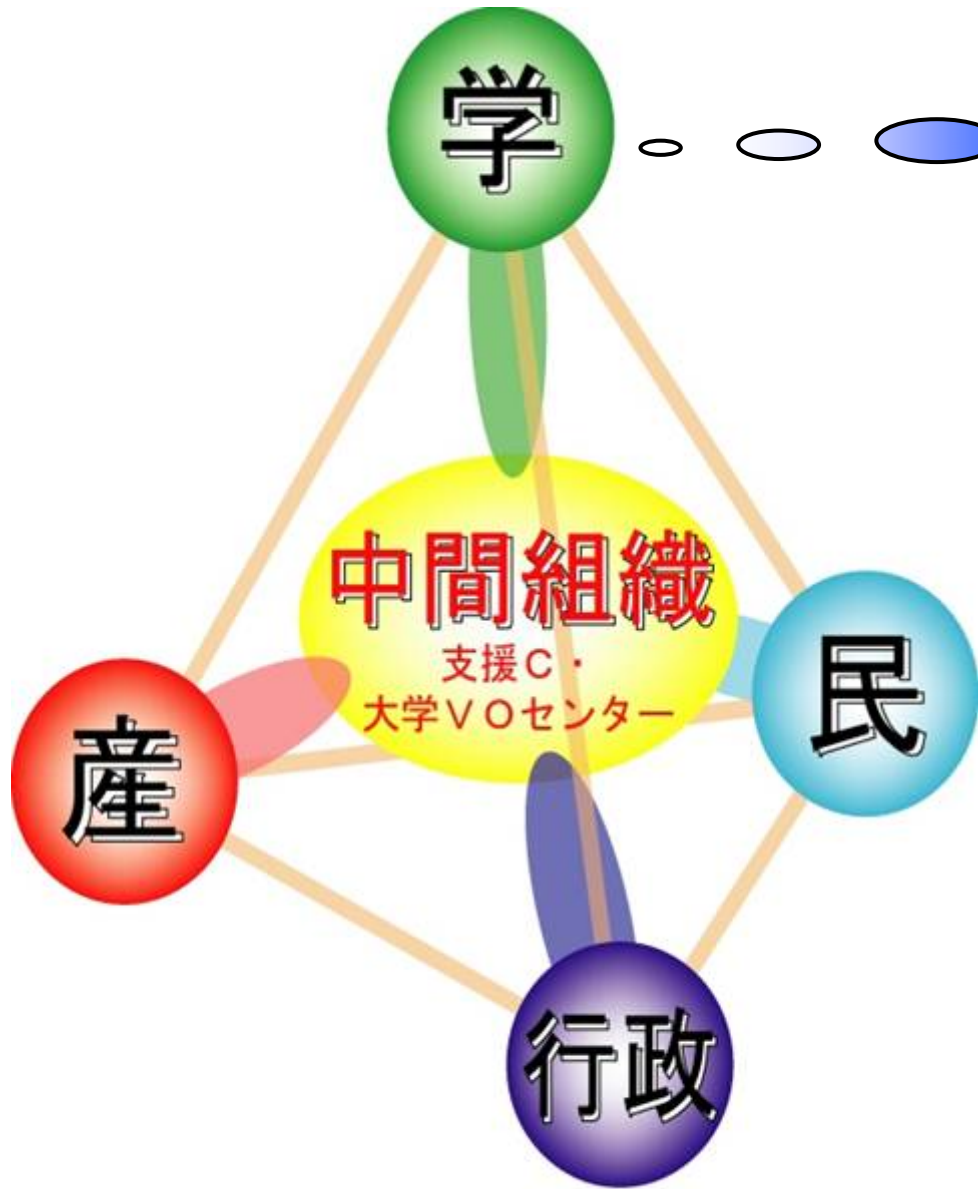
# 「民・産・学・行政」発の循環型社会

それぞれが距離を縮め  
対等な立場で自ら行動を  
起こす社会

- ◆モノの循環
- ◆知識の循環
- ◆人の循環



# 「民・産・学・行政」発の循環型社会



「学」をコアに

「学」のコーディネート  
組織の特色

◆それぞれの地域に  
身近に存在

◆小さい頃から環境  
教育

◆大学の専門的知識  
を活かして